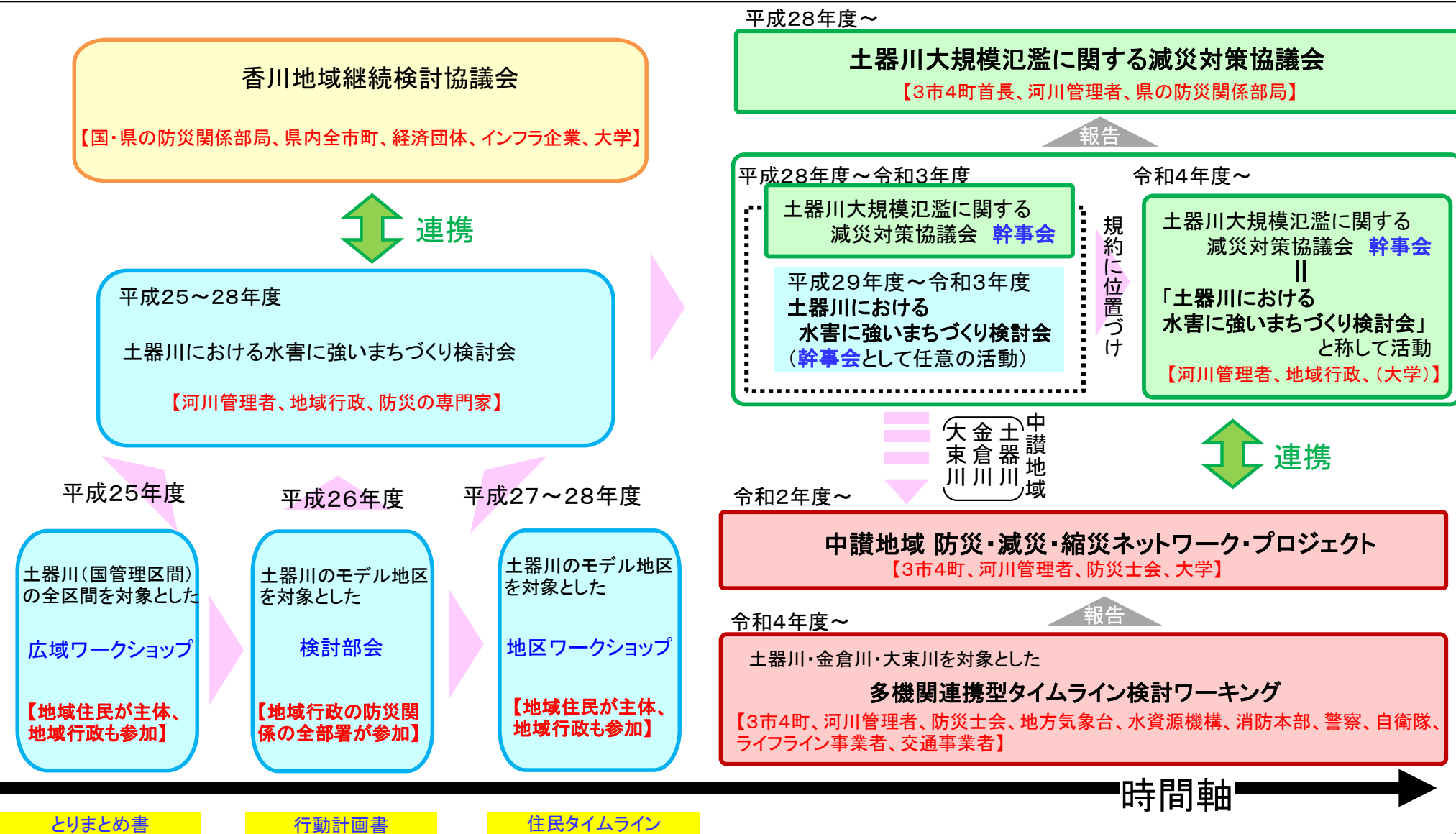


土器川の減災に係る取組方針 「令和7年度の重点的な取組」の報告について

令和8年6月5日

第12回 土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会

- 平成25年度より、大規模な水害を想定し、地域連携による“水害に強いまちづくり”を目指した危機管理対策の検討を実施。



「第11回 土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会」 令和7年6月6日開催

①「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト」の推進を後押し

- ・広域的な中讃地域を対象に、人材育成、地域連携に関して取組み、交流の場・機会を増やし、地域のつながりの輪を広げていくことを目的とする「リレー防災みらいサロン」の継続開催や、「多機関連携型タイムライン」の検証や改善に、土器川の減災対策協議会として活動を支援
- ・流域治水の推進に向け、「流域治水の自分事化に向けた取組計画」を推進
⇒リレー防災みらいサロンの開催(3市4町)

資料-2の説明内容

②流域タイムラインの運用フォローアップの推進

- ・土器川の「流域タイムライン」の運用を推進するとともに、確認された課題に関して関係機関と共有し、必要に応じてタイムラインの見直しを推進
⇒令和7年度に大きな出水がなかったが、「新しい防災気象情報」の令和8年出水期から開始を受け、「土器川流域タイムライン(洪水)【令和8年度版】」に更新した。

③特定都市河川の指定による流域治水の本格的実践に向けた情報共有の推進

- ・「流域治水」の推進に向け、特定都市河川の指定に関する全国の実施状況や施策内容などの情報共有しつつ、当該制度に向けた関係機関との調整
⇒土器川でも指定に向けた検討を開始し、今後も継続

- 「水防災意識社会 再構築ビジョン」を受けて、平成28年度に策定した「土器川の減災に係る取組方針」で設定した緊急行動計画の取組35項目について、取組目標とした令和2年度までに、各関係機関によりほとんどの取組が実施された。
- 令和2年度以降も引き続き減災にかかる取組を推進するため、減災対策の取組における本質的な課題への対応として、「人材育成と地域連携の仕組みづくり」を継続することとし、令和2年度に「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト（中讃地域RNP）」を設立した。
- 中讃地域RNPでは、中讃地域における多種多様な組織・団体が連携することにより、地域住民が迅速かつ的確な命を守る避難行動を実行できる“避難支援体制づくり”や、地域が迅速かつ柔軟な復旧・復興を成し遂げられる“災害に強い地域づくり”を目指すことを目的としている。
- 令和3年度のキックオフ・シンポジウム開催以降、中讃地域RNPを推進していくため、取組の周知を図った。

「土器川の減災に係る取組方針」取組35項目

「土器川の減災に係る取組方針」 取組の大項目	取組項目
1) 水害に対する安全性の向上および危機意識の向上とともに迅速かつ的確な避難行動のための取組	24項目
2) 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための的確かつ効率的な水防活動の取組	7項目
3) 一刻も早い生活再建、社会経済活動の回復を可能とするための排水活動、施設整備(防災機能の維持)の取組	4項目

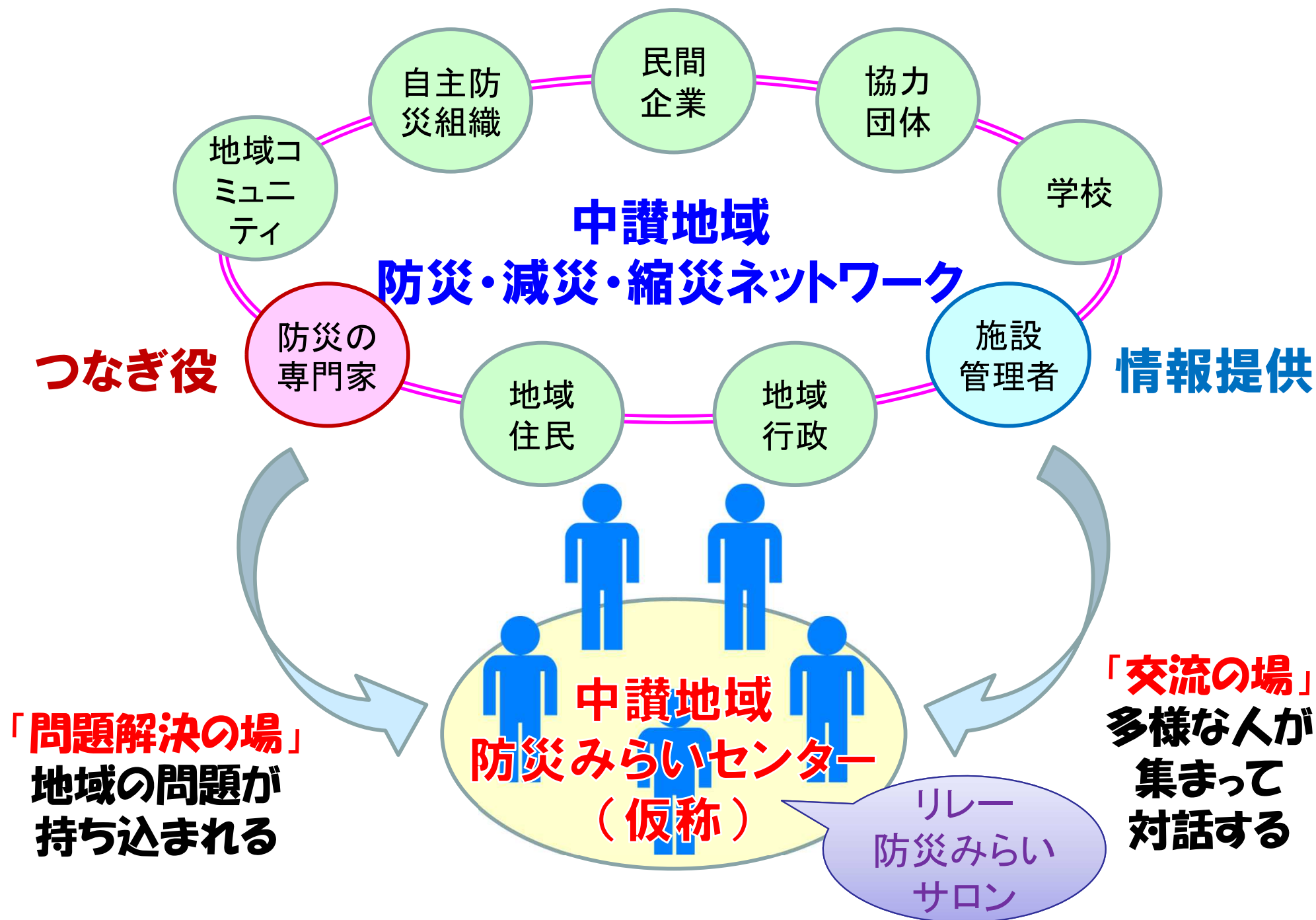
減災対策の取組における本質的な課題(人材育成と地域連携の仕組みづくり)への対応

中讃地域 防災・減災・縮災
ネットワーク・プロジェクト
(中讃地域RNP)の推進

【本質的な課題への対応】(犠牲者ゼロを目指して)

●地域住民の水防災意識の向上

- ・【人材育成】: 防災士等と連携した地域防災リーダーの育成、公助と共助が連携した防災教育・訓練の仕組みづくり
- ・【地域連携】: 共助の横の連携体制(連絡体制)の強化、公助と共助が連携した情報共有の仕組みづくり

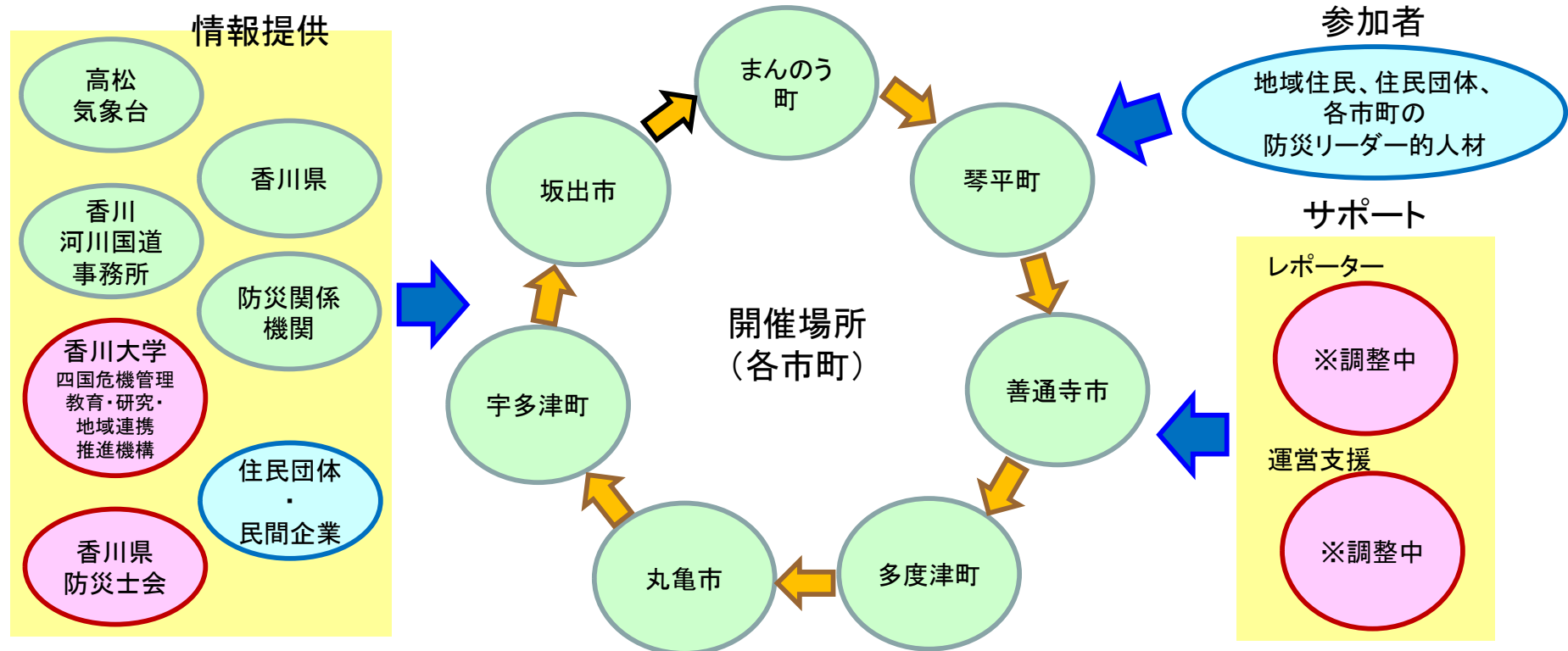


【目的】

- ① 交流の場・機会を増やす
- ② 地域の多種多様な組織・団体が知り合いになる
- ③ 「防災」をキーワードに、地域で「つながりの輪」を作る
- ④ 地域の情報を共有する
- ⑤ 地域防災リーダーを育成する
- ⑥ 様々な地域活動に共同で参画しやすくする
- ⑦ 災害時に地域で協力しやすい体制を作る

リレー防災みらいサロンの継続的な実施

- 継続的な人材育成と地域連携の場を提供し、住民自らが防災情報に関する情報の収集や意見交換、地域の活動を知るきっかけをつくるため、各自治体（中讃地域RNPメンバー）が主体となって継続的に連携して「リレー防災みらいサロン」を実施。



【リレー防災みらいサロン・プログラム(案)】

- **テーマ**: 気象情報、河川情報、防災情報システム、災害リスク(自然災害全般)、防災とまちづくり、防災と福祉、防災学習(ゲーム)、災害伝承など
- **構成**: 3部構成『①講習(現地オンライン中継)、②住民組織からの情報提供、③カフェスタイル座談会』、計2時間
- **場所**: 各市町のコミュニティセンターなど
- **レポーター**: ※調整中
- **コメンテーター**: 香川県防災士会 中讃ブロック・坂出宇多津ブロック、参加者(開催場所の一般参加者に加え、各市町の防災リーダー)
- **主催者**: 中讃地域RNPの主幹メンバー
- **運営支援**: ※調整中

リレー防災みらいサロンの開催(令和7年度)

- 中讃地域を主体に、「人材育成プロジェクト」と「地域連携プロジェクト」の活動を実施することにより、地域の情報共有、地域活動の共同参画、災害時の協力体制などの新たな仕組みを醸成させる取組として、令和3年12月のキックオフ・シンポジウムより具体的に活動を開始。
- 防災意識の向上に加え、地域のつながりを目指し、交流の場「リレー防災みらいサロン」を企画し、令和5年度から本格的にスタートとして、令和7年度も引き続き、土器川流域の各市町で開催。

R7年度 リレー防災みらいサロン 開催状況一覧表

市町	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実施内容	実施内容	開催状況	開催形式
丸亀市	R5.12.3(日) 出前講座	R7.1.18(土) 合同防災訓練	R8.1.17(土)	防災訓練・防災講演会
坂出市	R5.10.28(土) ゲーミングワークショップ	R6.11.23(土) 防災キャンプ	R7.11.23(日)	防災ミッケ
善通寺市	R5.9.9(土) 自主防災会講演会	R6.11.2(土) 合同防災訓練	R7.11.21(金) R7.8.19(火) R7.9.12(金)等	防災講演会 防災研修会 防災教室(3回)
宇多津町	—	R6.8.10(土) 防災講演会	R7.12.14(日)	防災訓練
琴平町	—	R6.7.19(金) ワークショップ	R7.7.14(月)	ワークショップ
多度津町	R5.9.23(土) ワークショップ	R6.12.21(土) ワークショップ	R7.11.30(日)	防災訓練
まんのう町	R6.3.3(日) 総合防災訓練	R6.12.22(日) ほか 講演会、防災訓練等	R7.11.15(土) R7.12.7(日) R7.12.14(日)	親子防災の集い支援 防災訓練 等

- 丸亀市では、市内全地区の自主防災組織による合同防災訓練を実施した。
- 合同防災訓練は2部構成とし、前半では防災訓練を行い、後半では防災講演会を行った。

日時 令和8年1月17日(土)

場所 土器川体育センター

参加者(216人)

- ・ 丸亀市内17地区自主防災組織
- ・ 丸亀市社会福祉協議会
- ・ 丸亀市職員(危機管理課、地域づくり課)
- ・ 地域防災協定締結企業(9社)

防災訓練(講師:川西地区自主防災会、危機管理課)

- ① クラッシュ症候群救出訓練
- ② 担架搬送訓練、車いす搬送訓練、地震体験車訓練
- ③ 避難所設営訓練
- ④ 防災資機材取扱訓練
- ⑤ 炊き出し訓練

防災講演会

演題 「防災の『ぼ』！～自分の事として考えて～」

講師 香川大学 危機管理先端教育研究センター 技術補佐員
高橋 真里 氏



防災資機材取扱訓練



防災講演会

- 坂出市では、小学生児童の親子を対象とした「親子で防災探偵団！ 防災ミッケIN坂出」を開催。
- 防災クイズや避難所生活体験、防災食調理体験など、親子で楽しみながら防災知識を学習した。

日 時 令和7年11月23日(日)
場 所 交流の里 おうごし
内 容 親子で防災探偵団！ 防災ミッケIN坂出



開催目的

- ①避難所生活を向上させる知恵について学び、
- ②避難所生活の課題と解決方法について学習することにより、



家庭における

災害対応力の向上
を図る

PHOTO1



PHOTO2



PHOTO3



➤ 善通寺市では、市内小学生に対して、防災専門官による防災教室を実施。

◆ 市内小学校(与北小学校(9/12)・西部小学校(9/19)・中央小学校(11/27))約80名



ハザードマップを確認



防災クイズ



防災倉庫の見学



ため池ハザードマップの見方

- ハザードマップを活用して、学校区内の浸水区域の確認や、ため池決壊危険区域を確認。
- 市役所が保管している市内全体の備蓄物資について、実際に現地で確認していただき、その保管状況や数量を直接ご覧いただくことで、備蓄の実態を具体的に把握。

【宇多津町】R7年度リレー防災みらいサロンの概要

- 宇多津町では、町PTA連絡協議会と協力し、「おやこでぼうさいパワーアップだいさくせん」を開催
- 日本赤十字社、かがわ自主ぼう連絡協議会、香川県防災士会坂出宇多津支部、NTTフィールドテクノ、西村ジョイ、陸上自衛隊、町危機管理課により各体験ブースを設置し、参加者がグループごとに体験。

日 時 令和7年12月14日（日）
 場 所 宇多津町保健センター及び町役場
 対象者 町内園児児童生徒、保護者及び一般参加者
 参加人数 250名（来賓関係者含む）
 内 容 ・ AEDの使い方・ダンボールベッド、パーディションの作り方
 ・ 毛布担架・携帯トイレの使い方・マンホールトイレの使い方
 ・ 水消火器訓練・応急手当訓練・特設公衆電話の使い方
 ・ 防災用品展示・自衛隊炊き出し訓練（カレーライス）



日 時 令和7年7月14日（月）
 話題提供 演目：「南海トラフ地震に備える自助、共助」
 講師 香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
 地域強靱化研究センター 准教授 磯打千雅子 氏



グラフィックレコーディングによるワークショップ開催記録

【多度津町】R7年度リレー防災みらいサロンの概要

- 多度津町では、白方地区において、給水体験や煙体験、消火訓練、浸水AR体験や重ねるハザードマップ体験、家具類転倒防止対策等のブースを設け、防災訓練を実施。
- 訓練には、白方地区の自治会をはじめ、町内の自主防災組織や社協等の方々が参加。

日 時 令和7年11月30日（日）

場 所 多度津町立白方小学校



➤ まんのう町では、小学校の防災教育・訓練への支援、地域の特性に応じた防災訓練支援を実施するなど、実践的訓練を通じ防災対策、防災意識の高揚を図った。また、年間を通じ自治会固有の地域特性に応じた防災対策の講話を行った。

- ① 小学校で実施された「親子防災の集い」を支援し、親子が一緒にできる防災対策（応急救護、災害用トイレの使い方、避難所の設営など）を行い防災意識の高揚を図った。
- ② 各地区単位で行われる防災訓練に参加し、倒壊家屋からの救出要領、避難所の開設要領などを展示・体験するなど「万が一の場合の行動要領」、「自助・共助の重要性」を説明した。
- ③ 防災士会等と協力し、平時の防災対策、家具の固定要領などを具体的に説明し啓蒙活動を行った

① 小学校での親子防災の集いを支援(11/15)

- 親子が一緒にできる実践的防災訓練を実施
- 応急救護の要領、担架づくり
災害用トイレの使い方などを体験
- 体育館で間仕切りテント
簡易トイレなどの設営を実施



② 地区単位の防災訓練を支援(12/7・12/14)

○持ち出し品の展示・説明



○担架の作り方



○倒壊家屋からの救助要領



○キッチンカー協会と協力



③ 防災士会と協力した啓蒙活動(12/14)

- 公民館文化祭などに参加
防災クイズ、持ち出し品の展示
- 防災訓練の場を利用し、模型
を使って家具の固定要領など
を具体的に説明し地震に対する
備えを啓蒙



- 「リレー防災みらいサロン」では、「四国の川を考える会」の助成事業を活用して、令和7年度では、防災グッズをデザインしたクリアファイル(A4サイズ)を作成し、3市4町に配布。
- 今後も各種防災に関する取組・イベント等で設置いただくなど、中讃地域RNPの取組の周知を図る。



裏面

表面

令和7年度に作成・配布した
防災グッズリストをデザインしたクリアファイル
(A4サイズ)



令和5年度に
作成・配布した
のぼり旗
(3種類: 1部ずつ)



令和6年度に作成・配布した横断幕